

第3回 食品安全文化の可視化に関する研究会議事概要

日時：令和6年9月30日（月）14:00～17:00

場所：スターバックス コーヒー ジャパン株式会社 会議室

次第

1. 開会

2. 議事

（1）情報共有/諸連絡

- ① 食品安全文化に関する情報共有(ネオジェンジャパン株式会社 牧野様)
- ② 食品安全文化と Well-Being の相関に関する研究についての進捗報告

3. 意見交換

食品安全文化測定ツールに対する意見交換

4. 閉会

食品安全文化に関する情報共有：ネオジェンジャパン株式会社 牧野様

- ネオジェンジャパン社の紹介
- ネオジェンジャパン社と食品安全文化の関わり
 - 業界 KOL とのつながり
 - 食品安全文化をテーマとした企画
- 食品安全文化に関する情報の紹介
 - ネオジェンジャパン社主催イベントでの Dr. Lone Jespersen の講演内容の紹介
 - ◇ 食品安全文化の成熟段階フレームワーク
 - ◇ 食品安全文化と従業員の Well-Being についての関連性
 - 心理社会的リスク：見過ごされる可能性がある第4のハザード
 - 食品安全文化に対する業界および行政からの認知の高まり
- 食品安全文化に関するネオジェンジャパン社の今後の取り組み
 - 食品安全文化に関連する資料の提供
 - Dr. Lone Jespersen を日本に招聘するイベントの計画
 - Frank Yiannas 著作の翻訳出版

食品安全文化と Well-Being の相関に関する研究についての進捗報告

- 9月10日研究会を開催
- 【ゴール設定に向けて】

- Well-Being と食品安全文化の相関をより深く理解し、従業員のエンゲージメントを高めるためのアプローチを見出すことが重要とされた。
- 各企業が独自に実施できる調査方法やツールの開発も含めた具体的な行動計画が必要であることが確認された。
- 中小企業における Well-Being と食品安全文化の相関性についての実地調査が紹介され、これを元に今後の研究の方向性を定めることが提案された。
- 【今後の開催予定】
 - 10月25日に開催予定。
 - 11月29日に開催予定。

食品安全文化測定ツールに対する意見交換

- No.9 私の職場では、一人ひとりの能力や適性を考えながら、育成・キャリア形成のために人員配置を行っています。
- No.10 私のチームでは、安全で衛生的な製品を作るために、他のチームと協力合っています。
- No.11 私の職場では、新しく加わった同僚に対して、経験豊かなメンバーや上司が作業手順や衛生管理のやり方を理解するまで寄り添ってくれています。
- No.12 私の職場では、上司や同僚とお互いに、作業手順や食品の安全・衛生について注意を促し合い、声を掛け合っています。
- No.13 私の職場では、作業手順や衛生管理のことが分からないときには、上司や同僚に気軽に聞ける雰囲気があります。
- No.14 上司は安全な製品を作るためのやる気を高めてくれる。
- No.15 削除
- No.16 食品安全や衛生に関する情報は、十分に理解できる内容で共有されています。
(掲示物等)
- No.17 削除、No.16 に統合
- No.18 食品安全や衛生に関する研修(社内・社外研修や、現場でのトレーニング)は、十分な頻度で行われています。
- No.19 食品安全や衛生に関する研修(社内・社外研修や、現場でのトレーニング)で学んだことは、自分の仕事をより良くするために役立っています。
- No.20 削除
- No.21 私の職場では、たとえ忙しかったとしても必ず作業手順をしっかりと守り、正しい作業を実施している。
- No.22 削除
- No.23 私の職場では、作業手順書や管理基準は必要なときにすぐに確認できる。
- No.24 私の職場の作業手順書や管理基準は、とても分かりやすく、理解しやすいよう

に工夫されています。

- No.25 私の職場では、作業手順書や管理基準の作成や見直しに、実際に作業をしている方の声が反映されています。

- No.26 次回代替案を提出

私の職場では、食品安全に関する書類や記録、日報などの文書業務の量が適切であると感じています。 Recommendation：評価選択肢として多い、少ないという評価を設定する必要があります。